

防 災

いざというときのために



新潟県中越地震の被害

災害は、予告も無く突然に襲ってきます。昨年発生した新潟県中越地震は、私たちの記憶に新しい出来事です。災害を完全に防ぐことは不可能でも、いざというときのために訓練を重ねたり、日頃の備えをしたりすることで、被害を最小限度にすることが出来ます。
ご家庭で、地域で、職場で、災害への備えを、考えてみましょう。

地震が発生したら

まず、身の安全を守ってください。頭上からの落下物や家具などの転倒から身を守ることを大切にす。座布団やクッションで頭を保護し、机やテーブルなど、頑丈な家具の下に身を潜めます。火を使っているときには、落ちて、素早く火を消します。小さな地震でも、油断せずに火を消しましょう。



風水害の危険が迫ったら

昨年、大館市においても、台風などの影響のため、川の水位が高くなり、床下、床上浸水や、田や畑が冠水した地域がありました。台風や低気圧が近づいて、雨や風が強まりそうときは、テレビやラジオ、インターネットからの最新の情報に注意しましょう。市などから避難の指示があったときには、すぐに避難出来るようにしましょう。

避難するときは

避難するときは、徒歩で、持ち物は最小限にします。車を使うと、思わぬ渋滞に巻き込まれたり、緊急車両の通行の妨げになったりする恐れがあります。また、隣近所で助け合い、特に病人や乳幼児、高齢者などを優先しましょう。日頃から避難場所や避難経路を確認しておくことが大切です。避難場所は、6月中に全家庭に配布した「くらしのガイド」に掲載しています。



非常時の持ち出し品

貴重品(現金・通帳・印鑑など)
飲料水
非常用食料(乾パン、缶詰など)
懐中電灯(1人に1つ)
携帯ラジオ(予備の電池は多めに)

非常時への備蓄品

飲料水(1人1日3ℓが目安)
食料(レトルト食品、缶詰など)
卓上コンロ(予備のボンベも忘れずに)
ポリタンク(飲料水を入れられるもの)
ビニールシート(敷物や雨よけに使います)
毛布
新聞紙
布製ガムテープ(荷物の整理、ガラスの補修などに使います)
台所用ラップ(皿にかぶせて使います)
乳児がいる家庭では、ミルクや哺乳瓶、おむつなどの育児用品
要介護者がいる家庭では、介護・看護用品やおむつなど

問 総務課

☎ 49-3111(内線259)

消防本部

☎ 43-4151